



さくら市 議会だより

市民すべてが、暮らしやすいと実感できる魅力あふれる「さくら市」を目指して

厳冬のさくら市ミュージアム
—荒井寛方記念館—



目次

第4回定例会のあらまし……………2～3	議会レポート……………16
各常任委員会……………4～5 (総務・文教厚生・建設経済)	議会運営委員会視察報告……………17
会議結果・賛否の公表……………6	議会広報委員会視察報告……………18
一般質問ここが聞きたい……………7～15	どうなったんべ あの質問は……………19
	市民の声・次回の定例会の予定…20



第4回定例会のあらまし

「平成29年第4回定例会が11月24日から12月8日まで開催され、平成29年度補正予算等の議案14件を原案どおり可決・承認、諮問1件が登壇し市政を問いました。」

で開催され、平成29年度補正予算等の議案14件を原案どおり可決・承認、諮問1件が登壇し市政を問いました。



放課後等デイサービス
グローバルキッズ
メソッド7



こども発達支援センター
ピーチ

障害児通所
支援事業所



急傾斜地崩壊対策事業
(根本地区)



指定管理者の指定
(喜連川児童センター)

平成29年度補正予算の概要

(単位：円)

会計区分		補正額	予算総額
一般会計	(第2号)	1,652万9千	174億4,960万
	(第3号)	2,619万8千	174億7,579万8千
氏家都市計画事業上阿久津台地 土地区画整理事業特別会計 (第1号)		224万1千	5億9,535万2千
公共下水道事業特別会計 (第1号)		159万9千	12億4,291万8千
介護保険特別会計 (第1号)		107万7千	28億5,151万4千
水道事業会計 (第1号)	収益的支出	△ 57万8千	7億7,659万6千
	資本的支出	31千	10億8,147万4千

上程された主な議案

一般会計補正予算(第2号)

主な歳入補正

○衆議院議員選挙費【県委託金】 1億6,529千円

主な歳出補正

○衆議院議員選挙費 1億6,529千円

一般会計補正予算(第3号)

主な歳入補正

○特別交付税 151万2千円

○障害児施設措置費(給付費等)負担金【国庫】
1,818万3千円

○社会保障・税番号制度システム整備費補助金【国庫】
57万6千円

○障害児施設措置費(給付費等)負担金【県】
909万1千円

○ふるさとづくり寄附金 1,350万円

○財政調整基金 △ 3,090万4千円

主な歳出補正

○ふるさとづくり寄附事業 232万円

○桜の郷づくり事業 230万円

○マイナンバー制度導入事業 401万8千円

○介護給付・訓練等給付事業 4,804万4千円

○高齢者向け給付金事業 2,433万2千円

○児童医療費助成事業 750万円

○喜連川青空市場維持管理事業 1,878万5千円

○急傾斜地崩壊対策事業 400万円

○児童生徒就学援助事業 223万4千円

繰越明許費

○喜連川青空市場維持管理事業 2,237万1千円

さくら市国民健康保険税条例の一部改正

・国民健康保険事業の健全・適正化を図るため、保険税の限度額を改正するものです。

さくら市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例の一部改正

・支給認定証を任意交付化することにより、保護者の負担軽減を図るため、所要の改正を行うものです。

指定管理者の指定

・喜連川児童センター
指定管理者：シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社

指定期間：平成30年4月1日～平成35年3月31日

人権擁護委員候補者の推薦

・小野 恵美子氏(狭間田)

ふるさとづくり寄附事業(ふるさと納税サイト)



楽天

URL: <https://www.rakuten.co.jp/f092142-sakura/>



ふるさとチョイス
(2月中旬開設予定)

◎笹沼 昭司 ○加藤 朋子
石原 孝明・石岡 祐二・渋井 康男・手塚 定

総務常任委員会

平成29年度さくら市一般会計補正予算(第3号)「所管分」

Q ふるさとづくり寄附事業において、返礼品費や楽天等のサイトに支払う金額を合算すると、どれぐらいの金額がかかるのか。

A 返礼品の購入費用と送料、ふるさと納税サイトへ払う手数料等により、寄附金額のおおよそ半分が経費となる。

Q さくら市のマイナンバーカードの普及率は7%弱と低いが、今後どう対応していくのか。

A 各種イベント時にリーフレット等を配布して普及啓発に努める。また、システム改修で国の補助が出るものについては整備を進めていく。今後も、国の動きには十分注意をしていく。

Q マイナンバーを使ったワンストップサービスにより、市役所に来なくても児童手当等の申請ができるというが、利用時間の制限はあるのか。

A 24時間利用可能である。

計で8,310万5千円となるが、前年度の繰入金額と前年度からの伸びは。
A 前年度の一般会計繰入金額は、8,290万2千円で、前年度比20万3千円の増となっている。

市内小中学校長との意見交換会

教育予算、教職員の負担軽減、学力向上等について市内小中学校長と意見交換会を行いました。



意見交換会

◎岡村 浩雅 ○若見 孝信
小菅 哲男・角田 憲治・矢澤 功

建設経済常任委員会

Q 桜の郷づくり事業で氏家駅前に桜を植えるとのことだが、桜を増やすためのこれからの計画は怎么样了。

A 上阿久津地区斜面やお丸山公園等への植栽を継続していく。来年度は、進化プランロードマップに基づき、全体的な計画を検討したうえで事業を進めていく。

現地調査

○駅前交流拠点
○押上小学校
○上松山小学校



審議風景

さくら市工場立地法第4条の2第1項に規定する緑地面積率等に係る準則を定める条例の制定について

Q 条例改正にあたり、地域説明会は実施したのか。

A 今回の条例改正は、工場立地に係る緑地面積率等の規制緩和が趣旨で、対象は工場等を設置する事業者であるので、土地所有者等に対する説明会は実施していない。

Q 条例第3条にある環境施設とは。

A 噴水・池等の施設、運動場、広場、太陽光発電施設等である。

平成29年度さくら市一般会計補正予算(第3号)「所管分」

Q 喜連川青空市場維持管理事業の解体工事で、どの部分にアスベストが使用されていたのか。

A 壁材にアスベストが含まれていた。

※農業振興費等の補助事業は、農産物1.2倍につながるよう広く周知を願いたい、との意見があった。

◎大河原千晶 ○福田 克之
永井 孝叔・大橋 悦男・鈴木 恒充・小堀 勇人

文教厚生常任委員会

平成29年度さくら市一般会計補正予算(第3号)「所管分」

Q 生活困窮者自立支援事務の内容は。

A 疾病やリストラ等に伴い経済的に困窮した方及び住居を喪失した喪失する恐れのある方を対象に、家賃相当分を支給する住居確保給付費と子どもの学習支援事業費等。

Q 生活困窮者自立支援事務の償還金とその実績は。

A 住居確保給付費償還金は58万875円。交付申請時点では6ヶ月間分家賃5件。実績では6ヶ月分1件、2ヶ月分1件の差額の返還。子どもの学習支援事業費は72万7千円で、交付申請時登録人数が、氏家中学校で23人、喜連川中学校で3人。申請では全員が1年間を通して全て出席を前提にしているが、部活動などで欠席した場合もあり、延べ人数は氏家地区189人、喜連川地区71人。

平成29年度さくら市介護保険特別会計補正予算(第1号)

Q その他一般会計繰入金については、今回の補正額59万1千円を含め、合計

平成29年度さくら市水道事業会計補正予算(第1号)

Q ※債務負担行為で水道メーター購入額の内訳は。

A 水道メーター新規購入費と水道メーター交換に伴う修繕費の合計である。

現地調査

○葛城大橋
○急傾斜地崩壊対策事業地内(根本地区)Okuノロープ



現地調査



加藤 朋子 議員

Q 要避難保護者への対応は。

A 災害の発生する可能性が高い地域を重点的に呼びかけるとともに避難行動時の要配慮者、要支援者への対応を含めて、地域の課題について意見交換を続けながら、自主防災組織の実効ある設立に努める。

A SNSなどを含め、あらゆる手段で情報提供できるよう努める。

Q 情報伝達手段は。

A 避難行動要支援者名簿を作成し、消防署、警察署、民生児童委員、自主防災組織代表者等に事前配付を行い、災害時には指示により、声かけや避難援助が行われる。名簿登載には本人の同意が必要なため登載率を高めるよう取り組んでいく。

Q 自主防災組織の役割と結成への今後の展開は。

A 避難行動要支援者名簿を作成し、消防署、警察署、民生児童委員、自主防災組織代表者等に事前配付を行い、災害時には指示により、声かけや避難援助が行われる。名簿登載には本人の同意が必要なため登載率を高めるよう取り組んでいく。

自主防災組織活動支援補助金で活動体制の整備

防災計画を実行性のあるものにするには



QRコード (動画配信) YouTube

A 関係課が連携しながら相談内容に応じて

Q 福祉ワンストップ相談と自立支援は。

A 災害時の避難場所における障がい者のトイレの確保などは重要な課題であり、先進的事例を調査するとともに、障がい者や関係機関、専門家などからも意見を伺い、不便を感じない対策を講じていく。

Q 多目的トイレ等のマップの作製や改修は。

A 災害時の避難場所における障がい者のトイレの確保などは重要な課題であり、先進的事例を調査するとともに、障がい者や関係機関、専門家などからも意見を伺い、不便を感じない対策を講じていく。

A 導入費を補助する方向で現在検討している。

Q その普及を図ってはどうか。

特殊詐欺退録音装置の導入は

各ケースに対応している。今後、どのような体制が適しているのか検証をすすめていく。現在、市内にはA型事業所が2か所、B型事業

所が3か所あるが、今後相談支援事業所、就労支援事業所、ハローワーク等と連携し、適切なサービスの提供や受け入れ先の確保を図る。民間企業等への障がい者雇用の理解と協力を求め、就労により経済的自立ができるよう支援する。



平成29年 第4回定例会

※議長（小菅哲男）は、採決に加わりません。（○…賛成、●…反対、欠…採決時に欠席）

議案等番号	件名	議決結果	議決日	合計		大河原千晶	岡村浩雅	笹沼昭司	石原孝明	福田克之	小菅哲男	加藤朋子	永井孝叔	若見孝信	大橋悦男	石岡祐二	渋谷康男	鈴木恒充	角田憲治	手塚定	小堀勇人	矢澤功		
				賛成	反対																			
条例	2	さくら市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の廃止について	可決	11月24日	16	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	3	さくら市工場立地法第4条の2第1項に規定する緑地面積率等に係る準則を定める条例の制定について	可決	12月8日	16	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	4	さくら市国民健康保険税条例の一部改正について	可決	11月24日	16	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	5	さくら市行政財産使用料条例の一部改正について	可決	11月24日	16	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	6	さくら市道路占用料徴収条例の一部改正について	可決	11月24日	16	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	7	さくら市公共物管理及び使用料条例の一部改正について	可決	11月24日	16	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8	さくら市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例の一部改正について	可決	11月24日	16	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	補正予算	1	専決処分の承認を求めることについて（平成29年度さくら市一般会計補正予算（第2号））	承認	11月24日	16	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9		平成29年度さくら市一般会計補正予算（第3号）	可決	12月8日	16	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10		平成29年度氏家都市計画事業上阿久津台地土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	可決	12月8日	16	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11		平成29年度さくら市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	12月8日	16	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12		平成29年度さくら市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	12月8日	16	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13		平成29年度さくら市水道事業会計補正予算（第1号）	可決	12月8日	16	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
その他議案	14	指定管理者の指定について	可決	11月24日	16	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
諮問	1	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	11月24日	16	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
報告	1	専決処分事項の報告について（平成28年度橋梁上部工事（市道K2012号）請負契約の変更）																						
	2	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定）																						

一般質問



若見 孝信 議員

一般質問 何が聞きたい

障がい者、高齢者の支援について

居場所づくりの充実に取り組んでいく

障がい者の居場所の支援について現在の取り組み状況は。

況と今後の支援策は。

A 応援スペースしゃぼん玉という自主事業を平成27年6月から実施しており、障がい者本人や家族、支援者が気軽に利用できる口中の居場所を無料で提供している。障がい種別の限定なく、利用する際の事前申し込みも不要。毎月第1火曜日に氏家公民館、喜連川公民館で交互に実施している。

Q 高齢者の居場所づくりについて現在の状況

A 今年度から開始した生活支援体制整備事業において、生活支援コーディネーターが地域サロンの開設に当たっての支援を行っており、平成29年4月1日現在の20ヶ所から10月には新たに3行政区で地域サロンが開設された。既存のサロン等に対しては、介護予防の普及啓発を図ることを目的に今年度は13団体に事前講座を実施。今後は生活支援協議会において、地域での支え合いの仕組みづくりを進めていく。

道の駅きつれがわについて

特産品の開発について、道の駅きつれがわを代表とする新たな商品開発が不可欠と考えるが、具体的にどの様に取り組んでいるのか。

A 現在、既に地元企業フタバ食品と温泉なすのコラボによる麻婆ナスの中華まん、地元産のリンゴを使ったアップルパイ、地元産のキクラゲを使った小籠包などのオリジナル商品の開発を進めており、中華まんについては12月23日に試食販売会を実施、アップパイ、小籠包については1月から販売できるよう進めている。

現在、既に地元企業フタバ食品と温泉なすのコラボによる麻婆ナスの中華まん、地元産のリンゴを使ったアップルパイ、地元産のキクラゲを使った小籠包などのオリジナル商品の開発を進めており、中華まんについては12月23日に試食販売会を実施、アップパイ、小籠包については1月から販売できるよう進めている。



QRコード (動画配信) YouTube

その他の質問

〇ちくふ市の農業振興について

一般質問



福田 克之 議員

一般質問 何が聞きたい

新年度予算(案)について

市民の満足度の向上に向け立案

Q ①新年度の予算の目玉は何か。

②いづれを優先するのかが。

②合併特例債が少ない中でどのような編成をするのか。
③国、県からの補助につ

A ①現段階では、予算編成中で、具体的な内容の答えがでない。歳入歳出要求額の乖離等

市民体育祭について

Q ①本市では13回目を迎え、今後どう考えるのか。

②種目や日程の変更はあるか。

③氏家地区、喜連川地区の合同開催の予定はあるのか。

A ①意見・要望などの確にとらえ大会を盛り上げていきたい。

②種目は、参加しやすくなるよう見直しを進める。日程は、今年と同様の日程と考えている。
③平成24年度に実施した市民アンケートの結果、

「合同で開催したい34.5%」「別々の開催51.8%」であり市民の声が高まったときに検討していく。



市民体育祭(氏家地区)

防犯カメラについて

Q ①犯罪抑止としての今後の運用方法は。

②公用車以外の通学バス等への拡大は。

③新たな運用はあるか。

識を持って積極的な情報収集に努め、民間の活躍

する現場に足を運び、進取主義を進めていく。

A ①現在防犯カメラは、6小学校に15基、3市立保育園に12基、JR氏家駅周辺に10基、道の駅きつれがわに28基で合計102基を設置している。
②通学バスには、すでに搭載されている。指定管理者あるいはその業務委託業者の使用車両等については、今後搭載状況把握を行う。
③蒲須坂駅の周辺などを検討し、防犯力の向上に努める。



QRコード (動画配信) YouTube



大河原 千晶 議員

一般質問 ここが聞きたい

所有者不明土地について

国の推移を見守りたい

Q 所有者不明土地が引き起こす問題について。

A 今後さくら市としてどのような対策が考えられるか。

Q 市単独で直接的・具体的対策を進めることは困難である。

A 国では所有不明土地研究会が設置され、議論を開始した。国土交通省で

は空き地に5年間程度の利用権を設定し、公益性の高い事業を可能にする。法案化検討が進んでいる。法務省では相続登記が適切に行えるよう民法、不動産登記法を改めていく方向性と聞いている。その上で、市として可能な対策について検討したい。



QRコード (動画配信) YouTube

※ KPI (重要業績評価指数) 目的を達成するための過程を計測するための中間目標。今の施策が合っているかを見る指標となる。

- ※ 具体的な取り組み(6点)
- 1. シティプロモーションの展開。
- 2. 民間開発、住宅開発の支援。
- 3. きぬの里とびゅうフォレストなどの宅地の分譲。
- 4. 新規観光誘客の拡大。
- 5. 空き家・空き店舗の有効活用。
- 6. 人口流出の抑制。



石岡 祐二 議員

一般質問 ここが聞きたい

受動喫煙防止対策について

必要性を認識しているが、喫煙者への配慮も必要

Q 市が管理する公共施設における受動喫煙対策の現状は。

A 現在、分煙している施設はない。敷地内全面禁煙施設は、公民館の市民文化系施設が1施設、図書館などの社会教育系施設が2施設、笹屋別邸などのスポーツ・レクリエーション系施設が3施設、小中学校等の全ての学校教育系施設が10施設、児童センターや保育園などの全ての子育て支援施設が7施設

Q 全ての公共施設を敷地内全面禁煙にするべきでは。

A 喫煙は、健康への悪影響や受動喫煙対策の徹底などが求められ、敷地内全面禁煙の必要性を認識して

設、保健センターなどの保健福祉施設が2施設である。



いるが、喫煙者も少ないので、ある程度の配慮も必要と考えている。

予算編成での歳入の確保について

Q 今後、厳しい財政運営が想定される中で市税の確保とともに受益者負担のあり方についても検討が必要だと思われるが、現在の状況もふまえたさくら市の考え方は。

A 近隣自治体の施設などの利用状況や事例を参考に、市民サービスが適正に確保される市民第一主義を踏まえ、幅広く市民の意見を伺いながら今後検討を加えていく必要がある。

ドローンの活用について

Q ドローンの導入と活用方法、有資格者の育成などについて早急に検討すべきでは。

A 活用内容、使用の頻度、運用上の課題を総合的に検討した上で導入の可否や具体的な手法について判断していく。

さくらブランドについて

Q さくらブランド認定品は、認定前後ではどのような変化があったか、売り上げは伸びたのか。

A 氏家うどん、甘極み約1・1倍、杉の椅子4倍、榊山錦、喜連川だんご、喜連川鮎(和菓子)約2倍、天恵菇(しいたけ)は横ばいである。

Q 今後の取り組みについて。

A 今後ブランド認証のあり方、制度の改善を含め多方面から検討し、さくら市の魅力を広く発信する商品の創出を図っていく。



QRコード (動画配信) YouTube



岡村 浩雅 議員

認知症対策について

認知症初期集中支援チームは地域包括支援センター2か所に設置

Q ①認知症初期集中支援チームの、本市における取り組み状況及び詳細について
②患者や家族が交流できる認知症カフェの実施状況及び今後の拡充について
③当事者が集まって語り合う本人ミーティングの開催について
④認知症簡易検査システム、活用の現状及び今後について

A ①地域包括支援センター2カ所に設置。保健師や看護師等の医療

系の有資格者1名、社会福祉士や介護福祉士等の福祉系の有資格者1名(地域包括支援センター)の職員がそれぞれ兼務予定、医師1名の構成を予定。医師は、市内の認知症サポーター医にお願いする。

②今年度8月より、氏家地区の地域交流レストラン「ハッピークローバー」で、毎月第3金曜日の午前10時から11時30分で開催。今後は周知に努め、参加者を増やしていく。



ぴーちサロン (毎月第3金曜日開催)

③本市では、開催していない。
④平成28年度予算でタブレット型の機器を1台購入。認知症予防教室と物忘れ相談で活用。窓口相談に来られた方にも状況により必要がある場合は活用していく。

地域資源を活かした体験交流型観光プログラムについて

Q ①現在市内で行われている主だった参加者ベスト5の各種イベントの現状、参加人数について
②福岡県久留米市で実施している、体験型交流観光プログラム「久留米まち旅博覧会」と同様なイベントの実施について
③レンタサイクル貸し出しの現状と今後市内全域での活用について

A ①氏家商工まつり、約4万人、氏家雛めぐり、約3万人、きつれがわサマーフェスティバル&花火大会、約1万5,000人、ゆめ!さくら博、約6,000人、さくら市福祉まつりが約4,000人である。
②情報のまとめ方、発信の仕方を参考にしていく。
③4月以降累計で7人の利用である。今後は、利用状況、来訪者のニーズ等を的確に把握し、貸し出し業務を実施する場所台数等も検討していきたい。



QRコード (動画配信) YouTube

その他の質問

○第48回衆議院総選挙及び今後の選挙について



角田 憲治 議員

進化プランのロードマップの進捗状況について

概ねまよひつひつである

Q 何故今日まで遅れているのか。

A 進化プランは当初より10年のロードマップであり、遅れているわけではない。現在、市長を本部長とする推進本部を立ち上げ、所管部長が委員長となった5つの推進委員会、所管課長が部長となった23の推進部会を組織、施策の目標や成果の指標、実現に向けての事業や指標、取り組み等について具体的な検討を行っている。10月に

第1回の推進本部会議を開催し、概ね進化プランの推進及びロードマップがまとまりつつある。
農産物売り上げ1.2倍は、推進協議会を12月に開催。大宮駅での農産物の販売、観光PRを実施する。

企業誘致は、企業誘致アドバイザーの力により新たに進出する企業が複数決定している。
障がい者就労施設からの優先調達は、市立保育園の給食において新たに開始。

教育関係の県外視察の成果について

暮らしを楽しむ健康散策ゾーンなどの取り組み

Q 市長の掲げる「気力体力、学力ナンバーワン」の目標達成のために、大分県豊後高田市と佐賀県武雄市に視察に行ったがその成果は。

A 豊後高田市は、教員OBや地域の方が講師である「課外スクール」など様々な取り組みにより、県内最下位であった学力を10年でトップに押し上げた。
武雄市は生徒全員が自分専用のタブレットを毎日の家庭学習に使用。市

独自で教材を作成し、低予算で実施している。
2件の視察は極めて有意義であり、「課外スクール」と「ICT教育」について視察を参考に検討中。

は、地域の方々との接点を持った結果、クリアされた。

べきハードルが多く認識された。



課外スクールの様子 (豊後高田市)



QRコード (動画配信) YouTube

その他の質問

○予算編成の進め方について



笹沼 昭司 議員

一般質問 ここが聞きたい

駅前交流館について

さくら市の魅力を発信する拠点

Q コンセプトはどのようなものか。

A 定住人口の増加を図るための移住情報、市内企業のPRや雇用情報、市出身の文化人の紹介など、幅広い情報をパネル展示などにより発信する案内機能の設置。市特産品をPRするための販売コーナー及び隣接する駅前広場のイベント時に市特産品を使用した飲食物を提供するための厨房施設と飲食スペースを設置する。

Q 販売や企画運営の形態はどのように考えているのか。

A 商工会、観光協会、道の駅と連携を図って進めていく。



仮称 駅前交流館完成予想図



QRコード (動画配信) YouTube

その他の質問

○平成30年度当初予算について

農業施策の充実について

Q 進化プランの中で農産物売り上げ1・2倍化を目標に掲げているが、国・県の方針を踏まえたうえでどのように対応していくのか。

A 国、県の施策に歩調を合わせ、飼料用米などの作付けの推進を図りながら、野菜や施設園芸への転換を図っていききたい。

Q 「特別教科 道徳」の目的をどのように考えているのか。

A 家庭や周囲の人々への感謝など、心を育てることに取り組んでいくことが重要。その中核として道徳教育は要であり、特別の教科「道徳」と言えると思う。

道徳教育について

Q 昨年度の障害者優先調達推進法に基づく調達実績額は那須烏山市と比べ約1/3であり、未だ不十分である。そこで、障がい者雇用を支援するため、本市における障がい者優先調達により一層の推進を図る必要があると考えるが。

障がい者施策について

A 優先調達できるものはないか検討した上で推進を図っていく。

Q 障害者差別解消法に基づき、差別的解消に取り組んでいくため、どのような施策を実施していくのか。

A あらゆる場面を通して差別解消につながる取り組みを積極的に展開していく。また、施設の改修にも取り組んでいく。

太陽光発電設備



再生可能エネルギー施設の設置規制について

さくら市景観条例において規制する

Q 太陽光等の再生可能エネルギー発電施設の設置について、全国の自治体では条例に基づき環境保全を求める手続きや環境影響評価手続きなどを独自に設ける例が増えている。豊かな自然環境を保全するため、再生可能エネルギー施設の設置について、条例等を制定し規制する考えはあるのか。

A 平成30年4月より施行をするさくら市景観条例において、再生可能エネルギーに関連の自立型構造物については一定規模以上の高さ及び区域面積を届け出対象と定めた。



永井 孝叔 議員

一般質問 ここが聞きたい



QRコード (動画配信) YouTube

その他の質問

○ふるさと納税について
○青少年の健全育成について

議会レポート・議会の動き

● 県央六市議会議長会議
平成29年11月7日

● 各種委員会等

● 監査

● 議会の動き

● 県央六市(宇都宮・鹿沼・真岡・さくら・下野・日光)
● 小菅 哲男 議長

● 塩谷市町村議会議長
会行政視察
平成29年11月8日～9日

● 塩谷管内市町(矢板・さくら・塩谷・高根沢)
● 小菅 哲男 議長

● 全国市議会議長会研究フォーラム
平成29年11月14日～16日

● 県北五市議会議長会議
平成29年11月21日

● 県北五市(大田原・矢板・那須塩原・さくら・那須烏山)
● 小菅 哲男 議長
● 石原 孝明 副議長



県央六市議会議長会議

● 塩谷広域行政組合議会
定例会
10月3日

● 小菅 哲男 議長
● 茨井 康男 議員
● 角田 憲治 議員
● 手塚 功 議員
● 矢澤 功 議員

● 環境審議会
12月14日
● 大橋 悦男 議員

● 塩谷市町村議会議長会
12月20日
● 小菅 哲男 議長

● 塩谷広域行政組合議員
全員協議会
12月26日
● 小菅 哲男 議長
● 茨井 康男 議員
● 角田 憲治 議員
● 手塚 功 議員
● 矢澤 功 議員

● 監査委員研修会
10月3日

● 定例監査及び行政監査
11月15・16・20・22日

● 例月現金出納検査
11月30日、12月25日

● 財政援助団体等監査
12月25日

● 監査委員
手塚 功 議員

● 視察来訪

● 10月3日

● 宮城県石巻市議会
会派「ニュー石巻」のメン
バー13名が、道の駅きつ
れがわを視察に訪れまし
た。



石巻市議会会派「ニュー石巻」視察来訪

10月	11月	12月
3日 議会広報委員会 塩谷広域行政組合議会定例会 宮城県石巻市議会視察来訪 監査委員研修会 全国市議会議長会 第132回国会 対策委員会 あおぞら・たいよう・わくわく保育 園運動会 ほづみ松の祭典 第13回さくら市マラソン大会(日本 三大美肌の湯「ハーフマラソン」) 第295回栃木県市議会議長会議 議会広報委員会 国立きぬ川学院第56回大運動会 第19回古河関東ド・マンナ力祭り開 会式 第72回春の院展栃木展 第37回加須地域市民まつり 第38回桜ふれあいの郷まつり 第95回企画展「さくら市の歴史と文 化 喜連川のお殿さま」開幕式 第55回技能五輪全国大会表彰式 第4回定例会(一般質問 第4回定例会(一般質問 第4回定例会建設経済常任委員会 例月現金出納検査	1日 第64回さくら市菊花展 2日 議員協議会 戦没者追悼式典 3日 第13回さくら市市民体育祭秋季大会 (氏家地区) 5日 第13回さくら市民体育祭秋季大会 (喜連川地区) 7日 県央六市議会議長会議 塩谷市町村議会議長会行政視察(8 日～9日) 新潟県燕市・糸魚川市 「温泉ライナー」喜連川温泉」大会 消防団通常点検	1日 第4回定例会総務常任委員会 2日 第64回菊花展表彰式 3日 第3回福祉フェスタinさくら 第60回塩谷地区駅伝競走大会 4日 第4回定例会文教厚生常任委員会 5日 市内小学校駅伝競走大会 6日 第4回定例会閉会 8日 環境審議会 塩谷市町村議会議長会 法令外負担金審議特別委員会 例月現金出納検査 財政援助団体等監査 塩谷広域行政組合議員全員協議会 議会広報委員会

議会運営委員会

行政視察研修報告

研修内容

平成29年
10月30日～11月1日
議会の運営に関する事項の
調査について

【三重県鳥羽市】

議会活性化への取り組み
として、人事案件を除き本
会議他すべての会議を原則
公開し、ほぼすべてをイン
ターネットで放送していま
す。また、議員全員がタブ
レット端末(iPad)を
政務活動費で契約し使用し
ています。

【三重県亀山市】

開かれた議会として本会
議と全ての委員会をライブ
録画でインターネット配信
し、加えて本会議について
はケーブルテレビでも放映
をされています。さらに、
平成23年からは定例会の内
容を報告する議会報告番組

【三重県四日市市】

「こんにちは！市議会です」
を広報広聴委員会の制作監
修のもと、ケーブルテレビ
で行政情報番組を放映して
います。現在はインター
ネット配信も開始し、ス
マートフォンやタブレット
端末でも視聴できます。
その他議会改革の取り組
みとして、平成23年に「議
会改革推進会議」及びその
補助機関の「議会改革推進
会議検討部会」を設置して、
検討課題を協議し、毎年10
月には「議会改革白書」を
作成しています。

通年議会の導入により速
やかに本会議を開催でき
るので、災害や突発的事件、
緊急の行政課題に対応して
いきます。さらに、所管事
務調査など常任委員会や特
別委員会の活動が活発化し、
より慎重な議案審議や専門
的な調査を行うことが可能
となりました。また議会基
本条例に基づき、議員は議
会期間中を除き、文書によ
り執行部に対して質問を行
うことができます。
その他議会改革の取り組

議会報告会は平成21年か
ら市内18カ所で行われてま
したが、離島やリアス式海岸
で集落が点在するという地
理的要因と住民の要望から、
平成23年には37カ所で開催
日本で1番開催回数が多い
市議会として紹介されたこ
ともあります。近年は開催
箇所数、参加人数ともに減
少傾向であることから、あ
り方を議論。平成28年に協
議の場として広報広聴委員



鳥羽市



亀山市



四日市市

議員が行った一般質問は、市政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から取り上げて、その後の状況をお知らせします。

「道の駅きつれがわりリニューアル」について

平成24年第1回定例会、平成25年第4回定例会、平成26年第1回・第2回定例会の一般質問

以前は…

現在は…

平成13年6月に栃木県内で8番目の道の駅としてオープンし、当時は温泉施設付き道の駅は他になく、利用者数・売上金額とも順調に伸び、関東道の駅「好きな道の駅ランキング」でも常に10位以内を占めている人気の道の駅でした。

しかしながら、道の駅に対する利用者ニーズの高度化や、道の駅間の競争も激しくなり、平成21年度をピークに利用者数・売上金額ともに減少傾向となり、更に、平成23年3月の東日本大震災でお丸山及び周辺の土砂災害により喜連川地区への観光客が減少していました。

農林水産省の農山漁村活性化支援交付金を活用し、基本コンセプトを「立ち寄る場所から目指す場所」～“癒しと食と情報の交流拠点”とし、人気の農産物直売所は、売り場面積を拡大、特産品販売施設・飲食施設（フードコート）と合わせた一体型の複合施設として新設し、4月20日にリニューアルオープンしました。

リニューアル前と比較すると、農産物の販売スペースの拡大及び取り扱い品目の増加等により、各テナントも含めて利用者・売上金額とも順調に増加しています。また民放各社のテレビ放映や旅行雑誌などマスコミ等に取り上げられたことから一定の集客につながっており、当初計画を上回る状況で推移しています。



道の駅きつれがわ

「議会だより」の配置場所

ご自由にご覧ください

- さくら市役所本庁舎
- 喜連川支所
- 卯の里庁舎
- 氏家・喜連川公民館
- 氏家・喜連川体育館
- 氏家・喜連川図書館
- 氏家・喜連川保健センター
- さくら市ミュージアム 荒井寛方記念館
- eプラザ杏番館
- 道の駅きつれがわ
- 市営もとゆ温泉
- 市営露天風呂
- 和い話し広場
- 氏家福祉センター
- 喜連川社会福祉センター
- 氏家・上松山・喜連川児童センター
- 南小学童保育センター

研修内容

平成29年11月14日～15日

議会だより編集等に関する調査について

今回の調査では、紙面づくりについて6項目、動画配信・タブレット活用・議場設備等・議会におけるICT化について行いました。

【多摩市議会】

多摩市議会では、リニューアルのためプロジェクトチームを立ち上げ、1年間検討し、平成29年5月号よりタブレット版からA4版に変えました。特に市広報紙との違いをはっきりさせるために、題字を募集したり特集記事を掲載し、議会を身近に感じる工夫をしています。今後は、写真の多用、議会内外の意見の聴取、さらに各戸配布を進めていく予定です。

【町田市議会】

町田市議会広報はタブレット版を採用しています。議員あたりの掲載スペースが小さいので、1面見出しに話題の記事を掲載し、見てもらえる工夫をしています。新聞折り込みや民間施設

【寒川町議会】

寒川町議会では、A4版を採用しています。町議会ならではの利点を活かした紙面は、全国町村議会議長会専門紙「地方議会人」などでも取り上げられたことがあります。また、研修会にも積極的に参加し、読み手となるレイアウトにするよう工夫しています。今後は文章を少なくし、イラスト、写真を活用するとともに、広告掲載による財源の確保を検討中です。



多摩市



町田市



寒川町

視察先の3つの議会では、広報委員長のリーダーシップが印象的でした。また、一般質問原稿については各議員が執筆し、広報委員はチェックのみなので他の特集記事に力を注ぐことができます。3つの議会ともにICT化が進んでおり、タブレット導入や議中継システム、ボタン採決や大型スクリーン設置など、議場・委員会室設備の充実が図られています。

さくら市議会だよりも、節目節目でリニューアルをしています。視察の成果をもとに、より良い紙面づくりに努めてまいります。

市民の声



農業のこれから



仁科 明彦 (上河戸)

先日、県農業大学校が生産工程管理の国際基準「グローバルGAP」を取得した記事を見て、農業関係に従事する者として大変嬉しい思いと共に、その風を県内全域に広げてもらいたいと感じました。農業を取り巻く情勢が厳しい中、今後の農業を見据えた大変意義のある結果だと思えます。

農産物には生産履歴の提出が必要で、「安全・安心な農産物を消費者に届ける」J-A、農産物直売所、道の駅等への毎日出荷される生産者の日々の努力が報われる販売が出来ないか、親から子への後継者作りはうまく



いつているのか、農業に魅力があれば親の背中を見て育った子は後継者の道へと進むでしょう。さくら市民が一体となった農業への取り組みが必要と考えます。そのためには市の共導役の議会の協力が重要となります。今後とも今まで以上の応援をお願い致します。

お知らせ

一般質問の自粛について

小菅議長・石原副議長は議会の円滑な進行のため、また、矢澤議会運営委員会委員長・手塚監査委員は立場上、議案・事業内容を細かく審議できるため、申し合わせにより一般質問を自粛しています。

議員年金について

地方議会議員年金制度は、昨今の厳しい財政の状況を踏まえ、平成23年6月1日をもって廃止されました。

政務活動費について

さくら市議会は支給されておられません。

▶ 次回 3月定例会予定

2月23日(金)～3月15日(木)

*正式な日程は、後日開催する議会運営委員会にて決定いたします。

編集後記

最後までお読みいただき、本当にありがとうございます。

「さくら市議会だより」は市民の皆さんと議会を繋ぐ貴重な媒体です。少しでも皆さんに関心を持っていただきたい、目を通していただきたいと、広報委員一同会議を重ね、心血を注いで編集に当たっています。今後ともご愛読の程、どうぞ宜しくお願いいたします。

加藤 朋子



議会広報委員会

◎石原 孝明 笹沼 昭司
○福田 克之 加藤 朋子
大河原千晶 若見 孝信
岡村 浩雅 渋井 康男



SAKURA

さくら市議会だより
No.52

発行日 平成30年2月1日
発行 さくら市議会
編集 議会広報委員会

〒329-1392 栃木県さくら市氏家2771
TEL 028-681-1123 FAX 028-682-3921
MAIL gikai@city.tochigi-sakura.lg.jp

さくら市ホームページ <http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp/site/shigikai/>